

射水市内遺跡発掘調査報告6

—平成24年度水戸田地区ほ場整備に伴う試掘調査他—

2014年

富山県射水市教育委員会



上 生源寺Ⅱ遺跡 53トレンチ土坑検出(北から) 下 生源寺Ⅱ遺跡 出土遺物(珠洲焼〈室町時代〉)

卷首図版 2



上 松木中鹿遺跡 2トレンチ遺構検出(南から) 下 松木中鹿遺跡 出土遺物(土師器〈古墳時代〉)

射水市内遺跡発掘調査報告6

—平成24年度水戸田地区ほ場整備に伴う試掘調査他—

2014年

富山県射水市教育委員会

例 言

- 1 本書は、平成24年度に富山県射水市内において射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。
- 2 試掘調査・出土品整理・報告書刊行は、国庫補助金・県費補助金を受けて実施した。
- 3 対象となった埋蔵文化財、並びに調査に関する位置・原因・面積・期間等は各章に記した。
- 4 本書の執筆・編集は、射水市教育委員会生涯学習・スポーツ課主任 田中 明（第1章・第3章）・主任 金三津英則（第2章）が担当した。
- 5 遺物整理の従事者は次のとおりである。
高瀬直子・関 一美・堀埜実津子・吉沢泰子（五十音順）
- 6 発掘調査に係る遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会が一括保管している。

凡 例

- 1 本書で用いた座標は世界測地系第Ⅱ系に準拠した。方位は真北、水平基準は海拔高である。
- 2 遺物の分類記号は次の呼称を踏襲した。SD：溝 SK：土坑 SI：堅穴建物跡
- 3 遺構実測図の縮尺は各々のスケールとともにその縮尺を表記した。遺物実測図の縮尺は土器の1/4とし、スケールとともにその縮尺を表記した。
- 4 出土遺物の番号は、遺物実測図・遺物観察表・写真図版の遺物番号にそれぞれ対応している。
- 5 本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』に準拠している。
- 6 第3章第1節における発掘地区図版の試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し種類は次のとおりとした。
●：縄文土器 □：弥生土器 ▽：土師器 ▲：須恵器 ■：珠洲 ☒：中世土師器
○：中世陶磁器 ⊗：近世陶磁器 ◎：木製品 ☆：その他（近代以降） T：トレンチ
- 7 遺物実測図中の土器断面の表現は次のとおりとした。
■：須恵器・珠洲 ⊕：赤彩処理 ■■：煤・炭化物

目 次

第1章	遺跡の位置と歴史的環境	1
第2章	水戸田地区試掘調査	3
第1節	調査に至る経緯と調査の経過	3
第2節	調査の方法	4
第3節	調査の概要	4
第3章	その他の遺跡調査	11
第1節	平成24年度試掘調査概要	13
	1. 棚田遺跡	13
	2. 申田新道跡	13
	3. 松木中鹿遺跡	14
	4. 三谷遺跡	14
	5. 赤田I遺跡	15
	6. 大開遺跡	15
	7. 烏帽子形遺跡	16
	8. 加茂社遺跡	16
	9. 針原西遺跡	17
	10. 三ヶ遺跡	17
	11. 中山中遺跡	18
	12. 南浦遺跡	18
	13. 朴木C遺跡	19
	16. 黒河尺目遺跡	19
	17. 黒河南遺跡	20
	18. 本開発遺跡	20
	19. 二口油免遺跡	21

卷首図版目次

- 巻首図版1 生源寺Ⅱ遺跡 53トレンチ土坑検出 出土遺物（室町時代）
巻首図版2 松木中鹿遺跡 2トレンチ遺構検出 出土遺物（古墳時代）

挿図目次

第1図	射水市の位置	1
第2図	遺跡の位置と周辺の遺跡	2
第3図	調査対象地及び周辺の遺跡	3
第4図	基本層序模式図	4
第5図	トレンチ配置図〔水戸田地区試掘調査1〕	6
第6図	トレンチ配置図〔水戸田地区試掘調査2〕	7
第7図	調査結果総括図	8
第8図	旧地形復原図	9
第9図	遺物実測図〔水戸田地区試掘調査〕	10
第10図	試掘調査位置図	12
第11図	遺物実測図〔松木中鹿遺跡〕	22
第12図	遺物実測図〔松木中鹿遺跡・中山中遺跡・棚田遺跡・黒河南遺跡〕	23

表目次

第1表	出土遺物観察表〔水戸田地区試掘調査〕（1～16）	10
第2表	平成24年度埋蔵文化財発掘調査一覧	11
第3表	出土遺物観察表〔試掘調査〕（1～40）	24

図版目次

図版1	水戸田地区試掘調査	調査対象地空撮
図版2	水戸田地区試掘調査	1 T 全景・1 T 遺構検出・2 T 遺構検出
図版3	水戸田地区試掘調査	59 T 全景・59 T 遺構検出・20 T 土層断面
図版4	水戸田地区試掘調査	22 T 遺構検出・53 T 全景・53 T 土坑掘削
図版5	水戸田地区試掘調査	重機掘削・作業状況・測量状況
図版6	水戸田地区試掘調査	出土遺物（須恵器・珠洲）
図版7	棚田遺跡試掘調査	4 T 遺構検出・1 T 遺物出土状況・出土遺物
図版8	松木中鹿遺跡試掘調査	2 T 全景・4 T 遺構検出・5 T 遺構掘削
図版9	松木中鹿遺跡試掘調査	出土遺物（土師器）
図版10	針原西遺跡試掘調査	2 T 全景・3 T 遺構検出・出土遺物
図版11	中山中遺跡試掘調査	1 T 遺構検出・1 T 遺物出土状況・出土遺物
図版12	南浦遺跡試掘調査	調査対象地全景・2 T 遺構検出・出土遺物

第1章 遺跡の位置と歴史的環境

射水市は富山県のほぼ中央に位置し、市域は東西約11km、南北約15kmで総面積109.18km²である。北部に富山湾、中央に射水平野、南部に射水丘陵を配し、標高0~140mを測る。富山市・高岡市と隣接し、交通の便に恵まれていることから、住宅団地造成が頻繁に行われ、ベッドタウン化が進んでいる。現在の人口は約9万5千人弱である。

射水平野は、東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km、南北約7kmの範囲の低湿地帯である。およそ1万~8千年前に形成された複合扇状地性三角州沖積平野で、河川によって運ばれた土砂や粘土・礫が堆積している。この沖積層が堆積した時代は海岸線が沖へ後退して平野部は現在より広がったとみられ、その後は縄文海進とよばれる気候変化と海面上昇により、海岸線が陸へ進行して平野部が狭まり、現地形で標高約5m以下は海面下に没することになる。やがて気候の寒冷化による海面後退、河川の土砂が堆積することでかつての海は小さく放生津潟（現：富山新港）としてのみ形を残し、周辺に湿原が現れる。この湿原は放生津潟の水面と標高差が殆どないため、河川の流れが澁み沼沢地を形成、湿原の植物が枯れて泥炭が堆積し、平野部が開けていくことになる。また、射水丘陵は新生代第三紀の青井谷泥岩層を基盤とし、上層に礫と砂泥からなる



第1図 射水市の位置

日ノ宮互層と太閤山火砕岩層が堆積している。鍛冶川・下条川・和田川やその支流によって河岸段丘や樹枝状の谷間が形成されている。このような自然環境の中で、先人達は集落を形成していったものと考えられる。現在、市内には456箇所の遺跡が密集し、平野部に集落遺跡、丘陵部に生産遺跡の立地が多く確認されている。

丘陵部では国指定史跡の小杉丸山遺跡、小杉流通業務団地内遺跡、上野南遺跡、赤坂A~D遺跡など生産遺跡が集中している。これらの遺跡は須恵器窯跡約39遺跡、製鉄遺跡約147遺跡を数えており県内最大規模を有する。須恵器生産窯跡や鉄生産製鉄炉と炭窯、工人の住居や作業場が見つかり、窯や炉を築くのに適した地形、粘土や薪・水の供給源が豊富にあることが好条件であったと考えられている。平野部では河川に近い地域に高島A遺跡、北高木遺跡、二口油免遺跡、小杉伊勢領遺跡などの集落遺跡が分布し、竪穴建物跡や掘立柱建物跡、溝や井戸などが確認されている。生産地である丘陵部と消費地である平野部を河川が結んで、交通路として機能していたために集落が営まれてきたと考えられている。

水戸田地区は、射水市のほぼ中央に位置する。地区の範囲は、東西約0.9km、南北約2.3kmであり、北部は水田地帯、南部は丘陵地となっている。南部の丘陵地では、全長43mの前方後円墳である五歩一古墳をはじめ、昭和52年度から平成8年度にかけて継続的に実施された小杉流通業務団地の造成に伴う発掘調査によって、国指定史跡小杉丸山遺跡を中心に、古墳時代から古代に至る集落・古墳・須恵器窯・製鉄炉等が多数確認されており、県下有数の遺跡密集地域として知られている。



第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

- 高島A遺跡
- 小杉丸山遺跡
- 小杉津邊栗田内遺跡
- 上野南遺跡
- 一〇〇 新坂A～D遺跡
- 北高木遺跡
- 二口油免遺跡
- 小杉伊勢橋遺跡

第2章 水戸田地区試掘調査

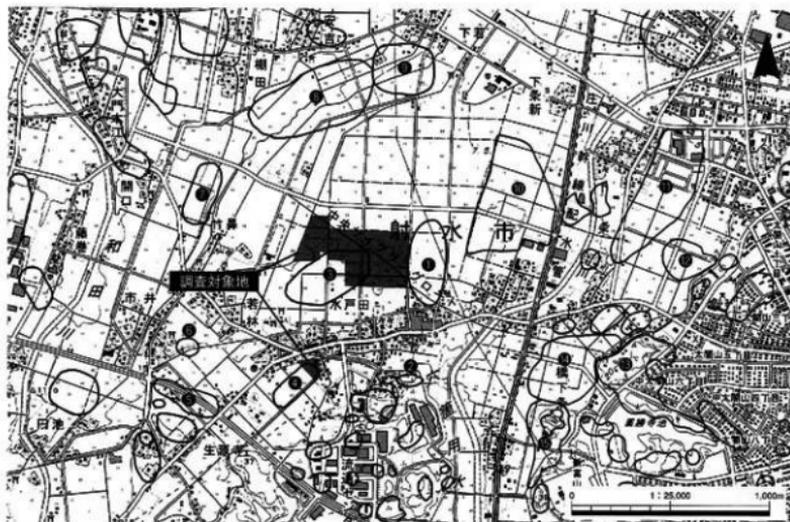
第1節 調査に至る経緯と調査の経過

平成22年10月、富山県高岡農林振興センターから、射水市水戸田地区における県営ほ場整備事業の実施に係る事前協議を受けた。事業は、平成24年度から30年度までの7か年計画であり、地区内の農道・用排水路等の撤去・新設及び水田の切土・盛土を含み、大区画は場へ再整備するものである。

事業計画地縁辺部においては、周知の埋蔵文化財包蔵地として本田宮田遺跡・本田畑田遺跡・水戸田遺跡・生源寺Ⅱ遺跡・生源寺Ⅲ遺跡・大白北遺跡・水戸田神明堂遺跡が知られていたが、事業計画地内の大部分を占める水田部においては発掘調査実績が少なく、埋蔵文化財に関する情報が不足していた。そのため、事業計画地全域の約69haを対象として、小規模なトレンチ発掘を併用した分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を含めた遺構面及び旧地形の遺存状況と、埋蔵文化財の大きな範囲を把握したうえで、事業計画との調整を図ることとなった。

分布調査は、射水市教育委員会が主体となって、平成23年10月13日から11月16日にかけて実施した。調査の結果、既存の埋蔵文化財包蔵地に加え、遺構・遺物の分布や旧地形の状況等から、複数箇所において、古代・中世を中心とした埋蔵文化財包蔵地の存在が想定でき、約28haの範囲で試掘調査による埋蔵文化財の範囲及び遺存状況等の確認が必要となった。

その後、事業者との協議を重ね、調査対象範囲が広大であること、年間の調査期間が収穫後の秋以降に限られることから、平成24～26年度の3か年計画で、射水市教育委員会が主体となって試掘調査を実施することとなった。



第3図 調査対象地及び周辺の遺跡 (1:25,000)

- 水戸田遺跡 ●水戸田神明堂遺跡 ●生源寺Ⅱ遺跡 ●生源寺Ⅲ遺跡 ●生源寺遺跡 ●市ノ井東遺跡 ●横田遺跡 ●本田宮田遺跡
- 本田畑田遺跡 ●大白北遺跡 ●赤田Ⅰ遺跡 ●赤田東遺跡 ●日の宮城跡 ●日の宮遺跡 ●五歩一遺跡

第2節 調査の方法

試掘調査では、山積0.28mのバックホウを使用して、幅約0.8～1.0m、長さ1.8m～46.3mの試掘トレンチを任意に設置し、遺構面と考えられる層まで掘り下げた。バックホウによる掘削の後、人力によりトレンチ床面及び壁面の精査を行い、遺構・遺物の有無を確認するとともに、土層断面の実測及び写真撮影により記録を作成した。

大区画は場を整備するという事業の性格上、水田面の平行を確保するための切土・盛土調整が伴うこととなるため、試掘調査では遺構の平面的な広がりに加え、特に遺構面標高値の測定に高い精度が求められた。測量精度の確保及びは場整備事業計画との整合を図るため、試掘トレンチの平面位置測量及び標高基準面測量は測量業者に委託して実施し、測量原点となる標高点及び基準点には、は場整備事業に伴って設置された既設点を使用した。

第3節 調査の概要

第1項 基本層序（第4図）

調査対象範囲は、射水丘陵（金山丘陵）北部の沖積地に位置している。

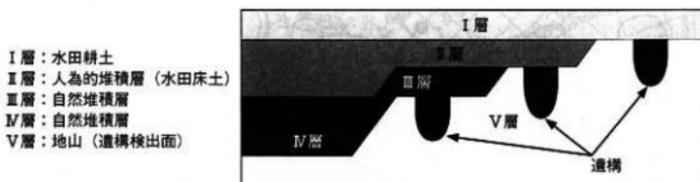
地形は、南西から北東へかけて緩やかに傾斜し、調査対象範囲の中央を通る県道戸出・小矢部線に沿って東西に展開する現在の水戸田集落端と丘陵北端との間には東部から谷が入り込んでいる。今回の調査対象範囲は、県道戸出・小矢部線を挟んで南北に分かれているが、水田部では全体的に起伏が少なく、土壌の堆積状況は概ね一定である。

基本層序は上層から順に、Ⅰ層：黒褐色粘質土・黄灰色粘質土、Ⅱ層：黒褐色粘質土・灰黄褐色粘質土、Ⅲ層：黒色シルト・黒褐色シルト、Ⅳ層：にぶい黄褐色シルト・暗褐色シルト、Ⅴ層：にぶい黄色シルト・浅黄色シルトとなる。

Ⅰ層は現在の水田耕土である。Ⅱ層は水田床土及び造成盛土等の人為的堆積層を一括した。Ⅱ層によって田面（Ⅰ層：水田耕土）の水平を確保しているため層上面は概ね水平堆積となっており、Ⅲ層以下が深く落ち込む場所では厚く堆積している。

Ⅲ層以下は自然堆積層である。Ⅲ層は黒色系統のシルト層が中心であり、古代（奈良・平安時代）・中世（鎌倉・室町時代）の遺物を包含する。Ⅳ層は、Ⅲ～Ⅴ層間の中間堆積層であり、Ⅲ層に比較して若干明るい色調となっている。Ⅴ層が深く落ち込む場所を中心に堆積しており、軟質で湧水が激しい。また、植物遺体を含む場所が多い。

Ⅴ層は地山で、場所や地表面からの深さによって色調・性質は若干異なるが、概ね浅黄色系統の粘性の強いシルト層であり、調査対象地全域に堆積している。Ⅴ層上面は古代・中世の遺構検出面となるが、耕土直下にⅤ層が現れる場所では、昭和30年代の耕地整理によって水平に削平されているため、遺構の遺存状況も悪い。



第4図 基本層序模式図

第2項 遺構・遺物及び地形の状況（第5～9図、図版1～6）

調査の結果、生源寺Ⅱ遺跡北東部及び生源寺Ⅲ遺跡北部において、保護を要すべき埋蔵文化財を確認した。県道北側に位置する生源寺Ⅱ遺跡では、第5図Aの範囲（5・15・59 T）、及びB（20・22 T）・C（53 T）の3地点において遺構・遺物のまとまりを確認している。

A・Bの範囲は、生源寺Ⅱ遺跡の北東端部に位置している。59 Tでは、多数の溝・土坑を検出しており、遺構内から古代の須恵器が出土した。20 Tでは、中世の溝を検出し、22 Tでは、古代・中世の溝を1条ずつ検出した。遺構内から須恵器・珠洲焼が出土している。A・Bの範囲の遺構は、隣接する生源寺地区内で実施された平成11年度の試掘調査範囲から続くものであり、平成11年度調査範囲では、弥生・古墳時代～古代の遺物が出土している。今回の調査では、弥生・古墳時代と確定できる遺物は出土していないが、時期不明の土師器の小片が散発的に出土しており、当該期の遺構が含まれる可能性がある。Cの範囲では、53 Tで多数の遺構を検出している。遺構には中世の井戸・溝等があり、井戸は直径約1 mの不整形円形プランで、遺構面から60cm以上掘り込まれている。遺構内からは、須恵器坏蓋・土師器・珠洲焼播鉢等が出土している。

県道南側に位置する生源寺Ⅲ遺跡では、遺跡範囲北端の1～3 Tで古代・中世の遺構・遺物を確認している（第6図）。遺構には、溝・土坑があり、須恵器・土師器・珠洲焼が出土している。県道北側と同じく、隣接地の生源寺地区内で平成11年度に試掘調査が実施されており、その際に確認された遺構群と今回確認した遺構群は一連のものであり、今回の調査対象範囲が遺跡の北限となるものと考えられる。

第3項 調査のまとめ（第8図）

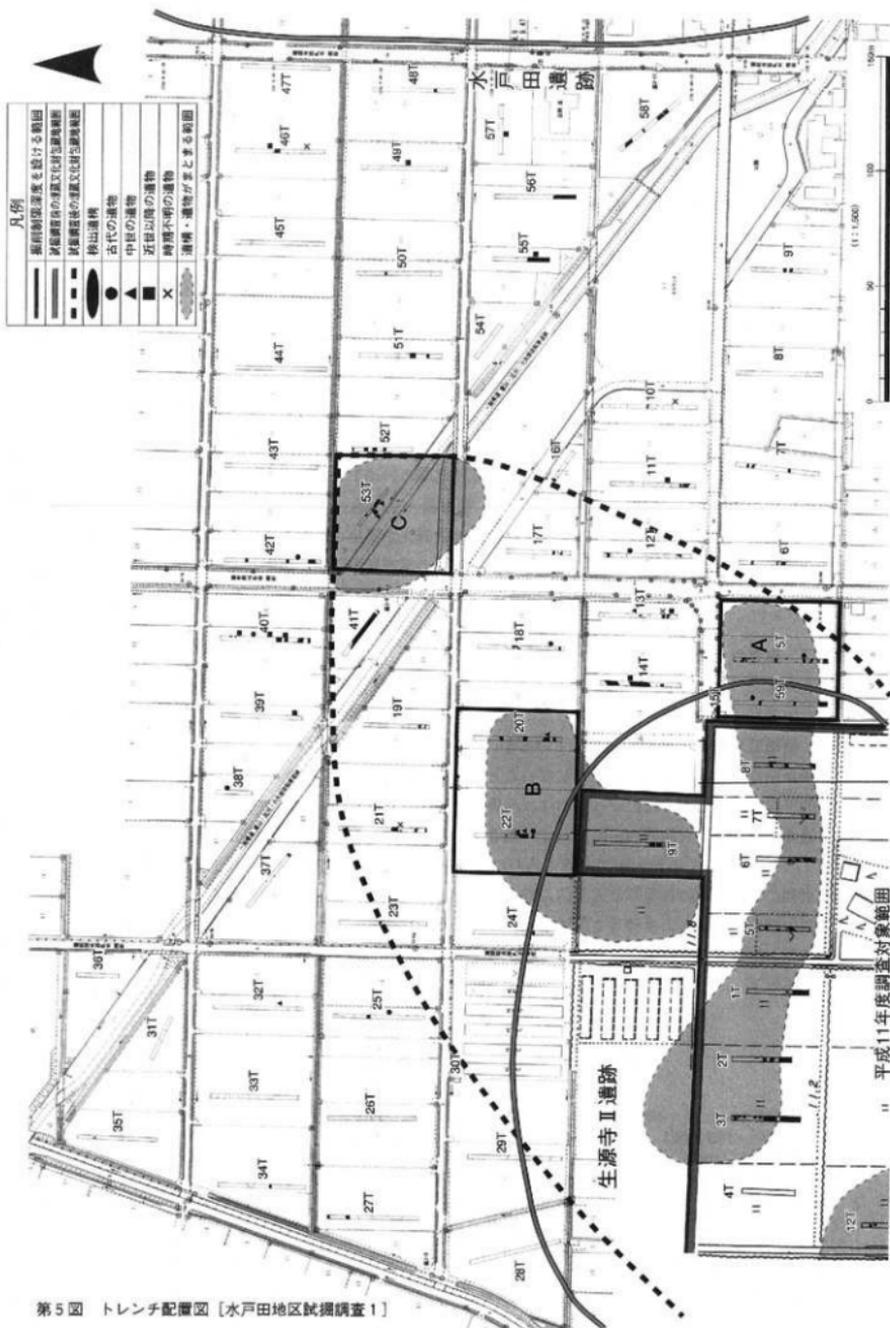
調査対象地内は、平成23年度実施の分布調査結果のとおり、南西から北東方向へ傾斜する地形となっているが、県道北側では、東西方向に小規模な谷地形が複数入り込んでいる状況が確認できた。また、耕地整理による改変が加わっているが、5 Tの北、53 Tの北東など、急傾斜地もあり、かつては、細かな地形の起伏が各所に存在していたと考えられる。遺構は、これら谷地形や急傾斜を避けた比較的平坦な場所を中心に広がっており、小規模な遺構群が散在する状況が窺える。

県道南側は、調査対象範囲が限られていることから、周辺を含めた詳細な旧地形は把握できないが、1～3 Tと比較して4 Tの地山が深く落ち込むことから、平成23年度実施の分布調査結果のとおり、遺跡の東側に南北方向の谷地形が入り込んでいる状況が確認でき、この谷地形が遺跡範囲の東限となる。

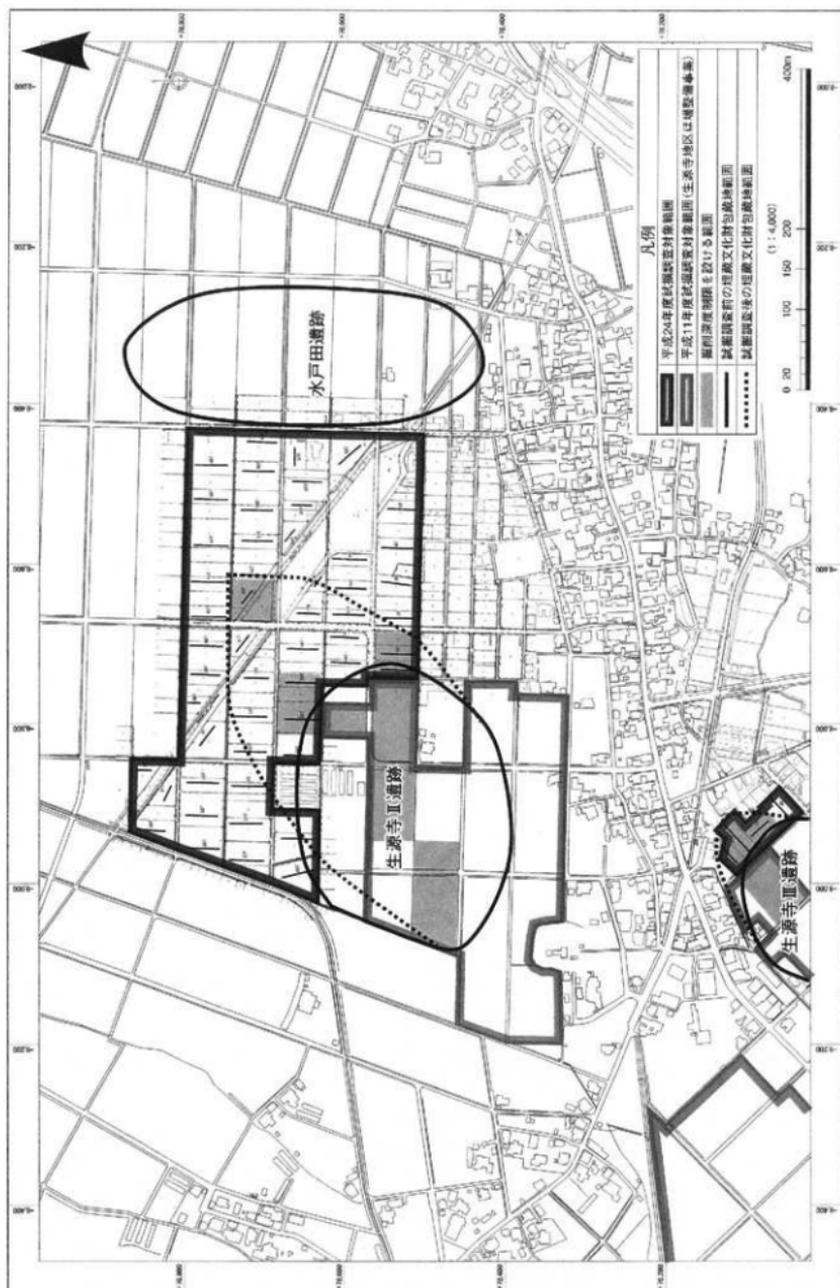
今回の調査結果から、生源寺Ⅱ遺跡では、比較的平坦な場所を中心に小規模な遺構群が散在する状況であり、生源寺Ⅲ遺跡では、南側に隣接する平成11年度試掘調査範囲に遺跡の中心が存在するものと考えられる。

参考文献

- 射水市教育委員会 2013年 「射水市内遺跡発掘調査報告Ⅴ－水戸田地区分布調査・大乗妙典塔一字一石経調査他－」
大門町 1981年 「大門町史」
大門町教育委員会 2000年 「県営ほ場整備事業（生源寺地区）に係る埋蔵文化財包蔵地試掘調査報告」
富山県埋蔵文化財センター 1994年 「小杉流通業務団地内遺跡群第12次発掘調査概要」

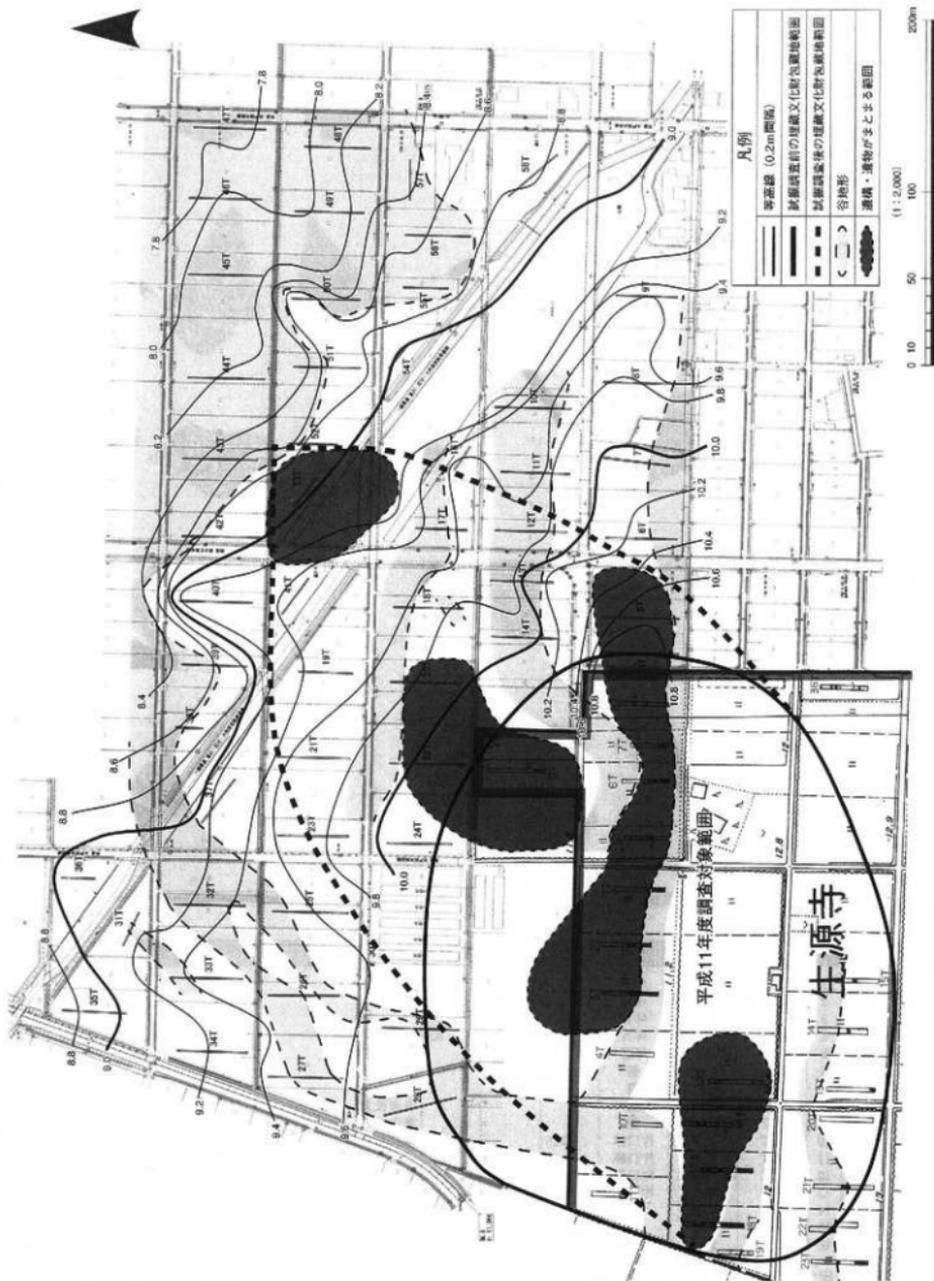


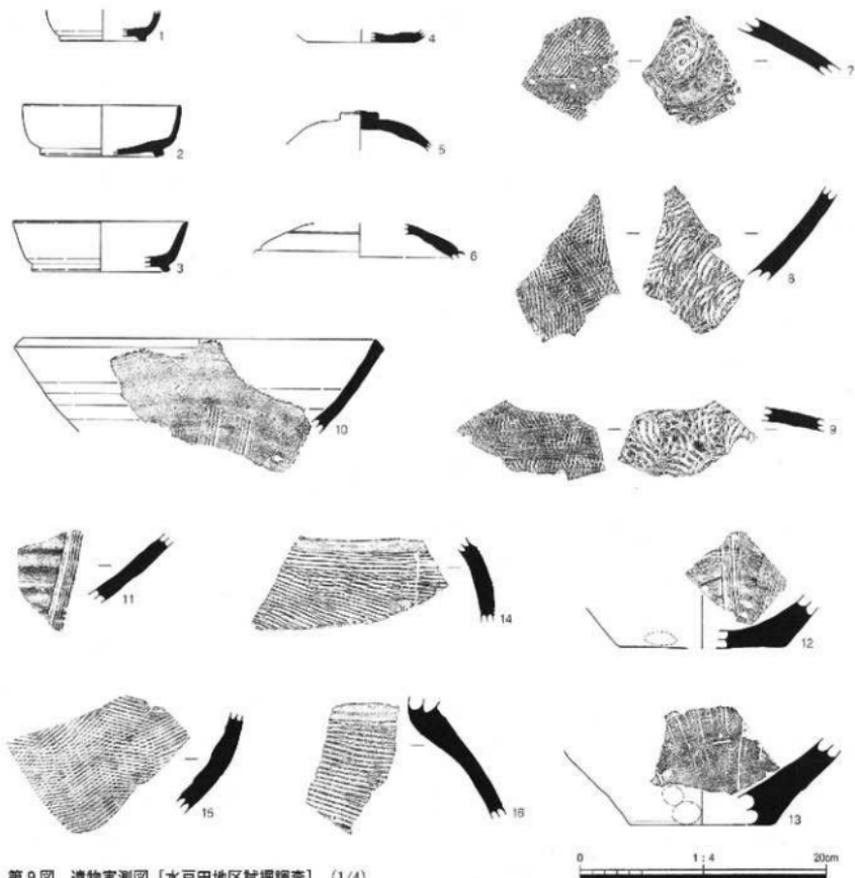
第5図 トレンチ配置図 [水戸田地区試掘調査1]



第7図 調査結果総括図

第 3 図 旧地形復原図





第9図 遺物実測図 [水戸地区試掘調査] (1/4)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第9図	1	22T	須恵器	坏B			7.8		底1/3
	2	2T	須恵器	坏B	12.6	4.1	8.8		口1/4
	3	42T	須恵器	坏B	14.1	4.0	10.8		口1/4
	4	40T	須恵器	坏A			8.8		底1/6
	5	53T	須恵器	坏蓋				つまみ径3.1cm	つまみ 完存 体1/5
	6	2T	須恵器	壺					破片
	7	2T	須恵器	壺				青海波文	破片
	8	2T	須恵器	壺				青海波文	破片
	9	2T	須恵器	壺				青海波文	破片
	10	53T	珠洲	片口鉢	28.5				口1/10 体1/8
	11	53T	珠洲	片口鉢					破片
	12	53T	珠洲	片口鉢			13.6	脚目22条 外面煤付着	底1/4
	13	53T	珠洲	片口鉢			11.3		底1/6
	14	22T	珠洲	壺					破片
	15	53T	珠洲	壺					破片
	16	22T	珠洲	壺					破片

第1表 出土遺物観察表 [水戸地区試掘調査]

口：口縁部 底：底部 体：体部

第3章 その他の遺跡調査

平成24年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、分布調査0件・試掘調査19件・本発掘調査0件・工事立会25件であった。傾向としては、試掘調査件数が昨年度比較で1割増加、調査原因の個人専用住宅建築がその3割強を占める結果となった。調査後の措置では、試掘調査2件において遺跡の広がりが確認されたため、盛土保存を行った。

試掘調査

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	棚田 211104	棚田177番1	農機具格納庫管理棟建築	H24.5.9	401㎡	40.5㎡	散布地	土坑(中世)溝(近現代)土坑(不明)	中世珠洲中世土師器不明陶磁器	工事実施(支障なし)
2	串田新 211399	串田新346番1外1庫	駐車場造成	H24.5.14	681㎡	62.3㎡	集落古墳	溝(不明)	なし	工事実施(支障なし)
3	松木中蔵 211023	松木175	農作業場建築駐車場造成	H24.5.24・25	673㎡	77.7㎡	散布地集落	溝・土坑(弥生)土坑(近世)	弥生土器古墳土師器近世陶器	工事実施(保護措置:483㎡)
4	三谷 211098	黒河1077	市道改良工事	H24.7.9	300㎡	19.9㎡	散布地集落	なし	なし	工事実施(支障なし)
5	赤田I 211361	橋下条851-1	住宅介護施設建設	H24.7.10	1,007㎡	80.3㎡	集落祭祀	なし	なし	工事実施(支障なし)
6	大隈 211119	黒河字大隈4951番1外7庫	店舗建設及び駐車場造成	H24.7.23	1,689.83㎡	56.5㎡	散布地	土坑(不明)	近現代磁器	工事実施(支障なし)
7	烏帽子形 211014	西新津27番3外4庫	店舗建設及び駐車場造成	H24.9.12	2,839㎡	61.8㎡	散布地	なし	なし	工事実施(支障なし)
8	加茂社 211088	戸塚字加茂2015-1	個人専用住宅建築	H24.9.18	181.38㎡	11.5㎡	散布地集落	溝(不明)	なし	工事実施(支障なし)
9	針原西 211090	黒河32番外2庫	駐車場造成	H24.9.25	2,462㎡	102.6㎡	散布地集落	溝(古代)	古墳土師器古代須恵器古代土師器	工事実施(支障なし)
10	三ヶ 211075	三ヶ1175番地の1	作業用敷地(倉)の造成	H24.9.26	552㎡	32.5㎡	散布地	なし	なし	工事実施(支障なし)
11	中山中 211095	太閤山一丁目43番1	個人専用住宅建築	H24.10.3・4・17	365.1㎡	70.6㎡	集落古墳	竪穴建物跡(弥生)土坑(弥生)	弥生土器古墳土師器	工事実施(保護措置:244㎡)
12	南浦 211037	高木262外1庫	冷凍庫建設及駐車場造成	H24.10.10・11	6,000㎡	374.4㎡	散布地	溝(不明)	縄文土器	工事実施(支障なし)
13	朴木C 211044	朴木243	駐車場造成	H24.10.19	3,000㎡	89.0㎡	散布地	なし	なし	工事実施(支障なし)
14	生源寺Ⅰ 211422	水戸田1010番地外3庫	果實は場整備	H24.10.15	4,700㎡	102.1㎡	散布地	溝(古代)溝(中世)溝・土坑(不明)	古代須恵器中世珠洲不明土師器	保存協議中
15	生源寺Ⅱ 211421	水戸田701番地外943庫	果實は場整備	H24.10.16~30	100,500㎡	1,367.4㎡	散布地	溝(古代)溝・井戸(中世)溝・土坑(近現代)溝・土坑(不明)	古代須恵器中世土師器中世珠洲近世陶磁器不明土師器	保存協議中
16	黒河尺目 211104	黒河字尺目1983番1外1庫	駐車場造成	H24.12.14	291㎡	30.6㎡	散布地集落	なし	なし	工事実施(支障なし)
17	黒河南 211127	黒河字竹山3134-7	駐車場造成	H25.3.5	377㎡	26.5㎡	散布地	なし	古代須恵器	工事実施(支障なし)
18	本間発 211455	本間発字代官発48-11外3庫	物販店舗建設	H25.3.11	2,890㎡	135.7㎡	散布地集落	溝(不明)	なし	工事実施(支障なし)
19	二口清亮 211403	二口417-1	小学校増築工事	H25.3.26	354㎡	8.5㎡	集落	なし	なし	工事実施(支障なし)
計	19遺跡19件				対象面積 129,265.31㎡	発掘面積 2,750.4㎡				

第2表 平成24年度埋蔵文化財発掘調査一覧



第10図 試験調査位置図

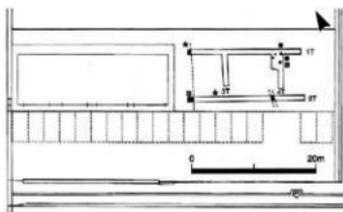
第1節 平成24年度試掘調査概要

1. 棚田遺跡 (第12図、図版7)

所在地	射水市棚田177番1
調査期間	平成24年5月9日
調査面積	対象面積：401㎡ 発掘面積：40.5㎡
調査原因	農機具格納庫及び管理棟建築
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	中世：土坑2基 近現代：溝2条 時期不明：土坑2基
出土遺物	中世珠洲・中世土師器・不明陶磁器



調査概要 対象地は遺跡包蔵地の南端部に位置し、現況は標高84mの水田である。検出した土坑から珠洲片口鉢（第12図38）が完形で出土したため、拡張して遺構の広がりを確認した。地山が最も落ち込んだ4 T拡張部にのみ遺構が散発的に遺存している状況であり、遺跡の広がりは見られないと考える。



2. 串田新遺跡

所在地	射水市串田新346番1 外1筆
調査期間	平成24年5月14日
調査面積	対象面積：681㎡ 発掘面積：62.3㎡
調査原因	駐車場造成
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	時期不明：溝1条
出土遺物	なし

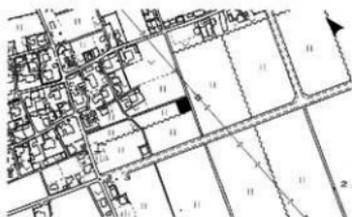


調査概要 対象地の現況は水田で、標高25.4mに位置する。土層は上から1層が黒褐色の耕作土、2層が黒褐色粘質土、3層が黒色シルトで腐植物を含む共に自然堆積土、4層が灰黄褐色シルト(10YR6/2)の地山である。検出遺構からの遺物はなく、時期不明である。遺物を包含する土層・遺構が確認されなかったため、遺跡の広がりは見られなかった。

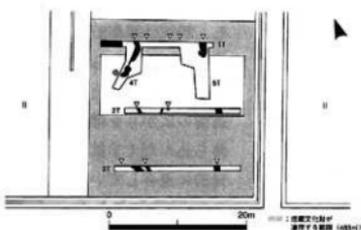


3. 松木中鹿遺跡 (第11・12図、図版8・9)

所在地	射水市松木175
調査期間	平成24年5月24日・25日
調査面積	対象面積：675㎡ 発掘面積：77.7㎡
調査原因	農作業場建築及び駐車場造成
調査担当者	尾野寺克実・田中 明・金三津英則
検出遺構	弥生～古墳時代：溝6条・土坑2基 近世：土坑1基
出土遺物	弥生土器・古墳土師器・近世陶器



調査概要 対象地は標高約2.5mの水田に位置する。ほぼ全域で弥生～古墳時代の遺構を検出したが、中央部にかけては元々の標高が高かったため耕地整理時の削平を受けてか、遺跡の遺存状況は極めて悪いと考えられる。このため、遺構に影響が及ぶ工事等を実施する場合は、建物計画部分以外(483㎡)の記録保存措置が必要である。

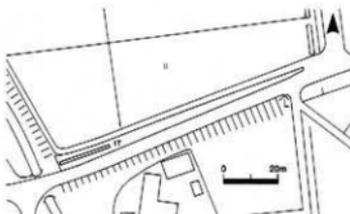


4. 三谷遺跡

所在地	射水市黒河1077
調査期間	平成24年7月9日
調査面積	対象面積：300㎡ 発掘面積：19.9㎡
調査原因	市道黒河502号線道路改良工事
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 土層は上から1層がぶい黄褐色の表土、2層が黄褐色粘質土の自然堆積土、3層が灰色や浅黄色シルトの混在、4層が黒褐色粘質土で共に攪乱土である。地山層には未到達。昭和46年頃まで使用されていた戸破用水路が検出され、U字溝ブロックによる攪乱のため、遺跡の広がりは見られなかった。

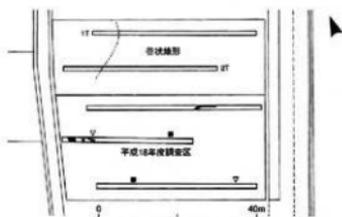


5. 赤田I遺跡

所在地	射水市橋下条851-1
調査期間	平成24年7月10日
調査面積	対象面積：1,007㎡ 発掘面積：80.3㎡
調査原因	居宅介護施設建設
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 対象地は下条川右岸、標高約7.5mに位置する。土層は5層に細分され、地山はにぶい黄色（2.5Y6/3）シルトである。西側を除き、遺物を伴わない谷状地形が広がるため、居住域に適にくい沼沢地の縁辺部と考えられる。南側隣接地の試掘調査でも、遺物を包含する土層・遺構が確認されなかったことから、遺跡の広がりは見られない。

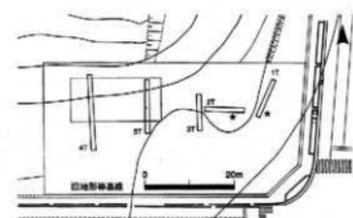


6. 大開遺跡

所在地	射水市黒河新字大開4951番1 外7筆
調査期間	平成24年7月23日
調査面積	対象面積：1,689.83㎡ 発掘面積：56.5㎡
調査原因	店舗及び駐車場建設
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	時期不明：土坑1基
出土遺物	近現代磁器



調査概要 対象地内の旧地形等高線をもとに、古代の須恵器窯跡・製鉄炉の検出を想定しながらトレンチ掘削を行ったが、検出には至らなかった。現況の地形への改変時に元々の丘陵部が削平を受けているため、浅黄色シルト（2.5Y7/3）の地山層を掘り込む攪乱が広がっている。遺構として検出した土坑は、出土遺物が無く、時期不明である。

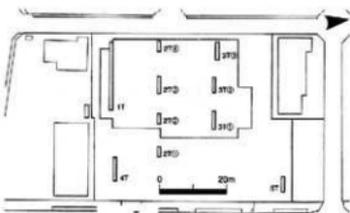


7. 烏帽子形遺跡

所在地	射水市西新湊27番3 外4筆
調査期間	平成24年9月12日
調査面積	対象面積：2,839㎡ 発掘面積：61.8㎡
調査原因	店舗建設及び駐車場造成
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 土層は上から1層が暗灰黄色の耕作土、2層が灰色シルトの自然堆積土、3層が灰色シルトの腐植土、4層が灰色シルトの地山である。全域において腐植土層の水平堆積が確認できたことから、湿地や旧河川域にあたる地域と考えられる。近隣地での試掘調査結果も検討したうえで、対象地を含む埋蔵文化財包蔵地の北側範囲を縮小した。

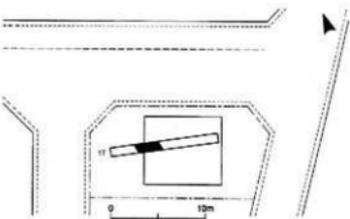


8. 加茂社遺跡

所在地	射水市戸破字加茂2015-1
調査期間	平成24年9月18日
調査面積	対象面積：181.38㎡ 発掘面積：11.5㎡
調査原因	個人専用住宅建築
調査担当者	田中 明
検出遺構	時期不明：溝1条
出土遺物	なし



調査概要 対象地は下条川から約100m右岸に位置する。土層は4層に細分され、地山は灰白色（7.5Y7/1）やや粘質シルトである。平成6年度、北側隣接道路敷において本発掘調査を実施し、弥生～古墳・平安・鎌倉～室町時代の遺構を検出していたが、対象地には出土遺物のない時期不明な溝のみであり、遺跡の広がりは見られないと考える。

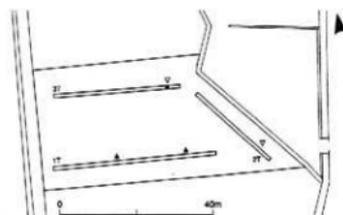


9. 針原西遺跡 (図版10)

所在地	射水市黒河32番 外2筆
調査期間	平成24年9月25日
調査面積	対象面積：2,462㎡ 発掘面積：102.6㎡
調査原因	駐車場造成
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	古代：溝1条
出土遺物	古墳土師器・古代須恵器・古代土師器

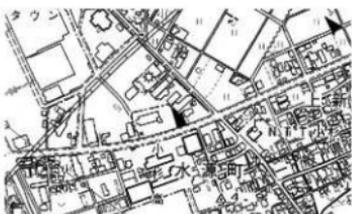


調査概要 対象地の現況は水田で標高約3.2mに位置する。土層は3層に細分され、地山はにぶい黄橙色シルト(10YR6/3)又は灰オリーブ色(5Y5/2)微砂である。遺構から古代の土師器片が出土したが、他のトレンチへ広がる可能性が低く、散発的なものと考えられる。他の遺物は全て耕作土からの出土である為、遺跡の広がりは見られないと考える。

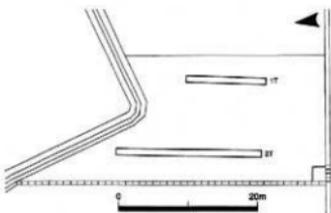


10. 三ヶ遺跡

所在地	射水市三ヶ1175番地の1
調査期間	平成24年9月26日
調査面積	対象面積：552㎡ 発掘面積：32.5㎡
調査原因	作業用敷地(畑)の造成
調査担当者	田中 明
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 土層は上から1層が灰色の耕作土、2層が灰色粘質シルト、3層がオリーブ黒色粘質シルトで共に自然堆積土、4層が灰白色(5GY8/1)粘質シルトの地山である。西側隣接地、過去2回の試掘調査においても遺跡の広がりが見られなかったため、対象地を含む埋蔵文化財包蔵地の北・西・東側範囲を縮小した。

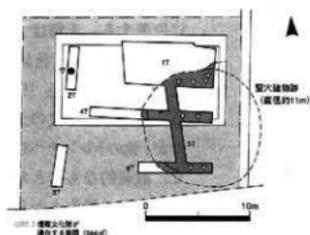


11. 中山中遺跡 (第12図、図版11)

所在地	射水市太閤山一丁目43番1
調査期間	平成24年10月3日・4日・17日
調査面積	対象面積：365.1㎡ 発掘面積：70.6㎡
調査原因	個人専用住宅建築
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	弥生時代後期末～古墳時代前期： 竪穴建物跡1棟・土坑2基
出土遺物	弥生土器・古墳土師器

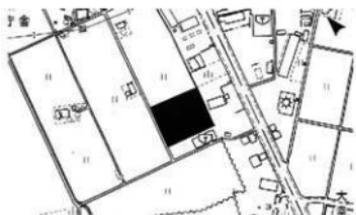


調査概要 対象地の南東域で、最大直径約11mの円形と推定できる竪穴建物跡を検出。遺構床面がほぼ水平で、部分的に人為的に固められた硬化面も確認した。周辺調査区においても竪穴建物跡等が検出されているため、全域に遺跡の広がりが考えられる。建物部分以外(244㎡)で掘削を伴う工事等を施工する場合は、記録保存措置が必要である。

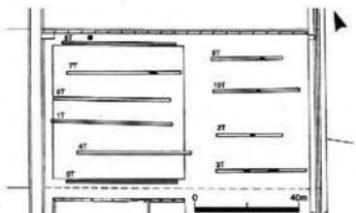


12. 南浦遺跡 (図版12)

所在地	射水市高木262 外1筆
調査期間	平成24年10月10日・11日
調査面積	対象面積：6,000㎡ 発掘面積：374.4㎡
調査原因	冷凍庫建設及び駐車場造成
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	時期不明：溝3条
出土遺物	縄文土器



調査概要 対象地の現況は水田で標高約2mに位置する。土層は上から1層が暗灰黄色の耕作土、2層が黒褐色シルトの自然堆積土、3層が灰オリーブ色(5Y 6/2)シルトの地山である。縄文土器は耕作土より出土。検出した溝状遺構からの遺物はなく時期不明であり、対象地内に遺跡の広がりは見られなかった。

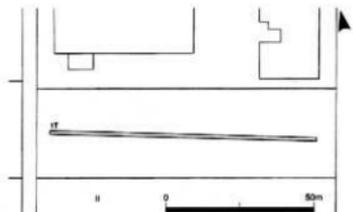


13. 朴木C遺跡

所在地	射水市朴木243
調査期間	平成24年10月19日
調査面積	対象面積：3,000㎡ 発掘面積：89.0㎡
調査原因	駐車場造成
調査担当者	尾野寺克実
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 土層は上から1層が暗褐色の耕作土、2層が黒褐色粘質土の自然堆積土、3層が褐灰色（10YR6/1）粘質土の地山である。2層から3層地山に入り込む溝や穴を数箇所検出したが、遺物の出土はなく、堆積土や配置に人為的意図が認められない為、遺構ではないと判断した。西端部で地形の落ち込みは確認したが、遺跡は見られなかった。

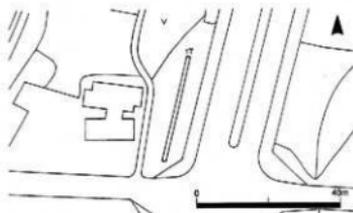


16. 黒河尺目遺跡

所在地	射水市黒河字尺目1983番1 外1筆
調査期間	平成24年12月14日
調査面積	対象面積：291㎡ 発掘面積：30.6㎡
調査原因	駐車場造成
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	なし
出土遺物	なし



調査概要 対象地の現況は盛土済みの雑種地で、標高約10.7mに位置する。土層は3層に細分され、地山は砂粒多・円礫少量を含むにぶい黄色（2.5Y6/4）シルトである。平成2年度に南方約20mで本発掘調査を実施し、奈良～平安時代の掘立柱建物跡等の遺構を確認しているが、今回の対象地内には同時期の遺構・遺物は検出されなかった。

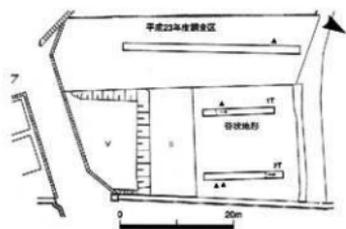


17. 黒河南遺跡 (第12図)

所在地 射水市黒河字竹山3134-7
 調査期間 平成25年3月5日
 調査面積 対象面積：377㎡ 発掘面積：26.5㎡
 調査原因 駐車場造成
 調査担当者 田中 明
 検出遺構 なし
 出土遺物 古代須恵器



調査概要 対象地の現況は水田である。土層は上から1層が暗灰黄色砂質シルトの耕作土、2層が浅黄色(2.5Y7/4)粘質シルトの地山である。3層は灰色(5Y5/1)粗砂で2層の堆積が見られない1トレンチでは地山となる。須恵器は地山層直上より出土。西側半分に谷状地形が広がるため、居住域に適しにくい沼沢地の縁辺部にあたると考えられる。

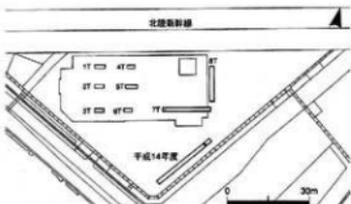


18. 本開発遺跡

所在地 射水市本開発字代官免48-11 外3筆
 調査期間 平成25年3月11日
 調査面積 対象面積：2,890㎡
 発掘面積：135.7㎡
 調査原因 物販店建設
 調査担当者 田中 明・金三津英則
 検出遺構 時期不明：溝1条
 出土遺物 なし



調査概要 土層は4層に細分され、地山はオリブ黄色(5Y6/3)シルトである。現況地盤より約1.4m前後で検出。最近の本発掘・試掘調査結果を精査して、埋蔵文化財包蔵地の範囲を全体的に縮小した。東側に隣接していた三ヶ遺跡との間に空白域が生じたため、遺跡名も三ヶ・本開発遺跡から本開発遺跡へと名称変更した。



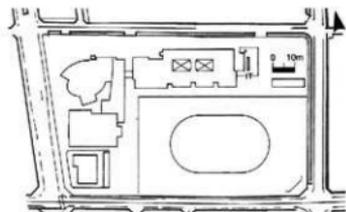
19. 二口油免遺跡

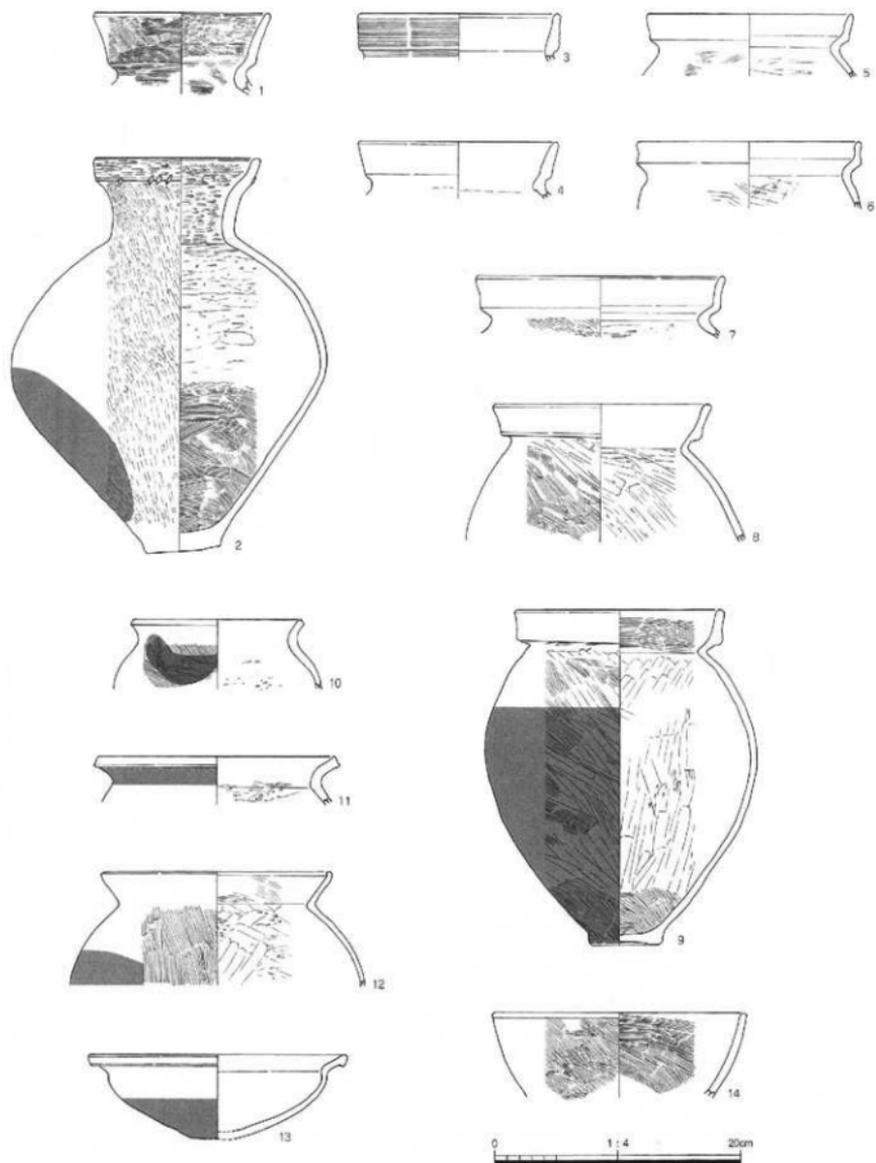
所在地	射水市二口417-1
調査期間	平成25年3月26日
調査面積	対象面積：354㎡ 発掘面積：8.5㎡
調査原因	小学校増築工事
調査担当者	田中 明・金三津英則
検出遺構	なし
出土遺物	なし



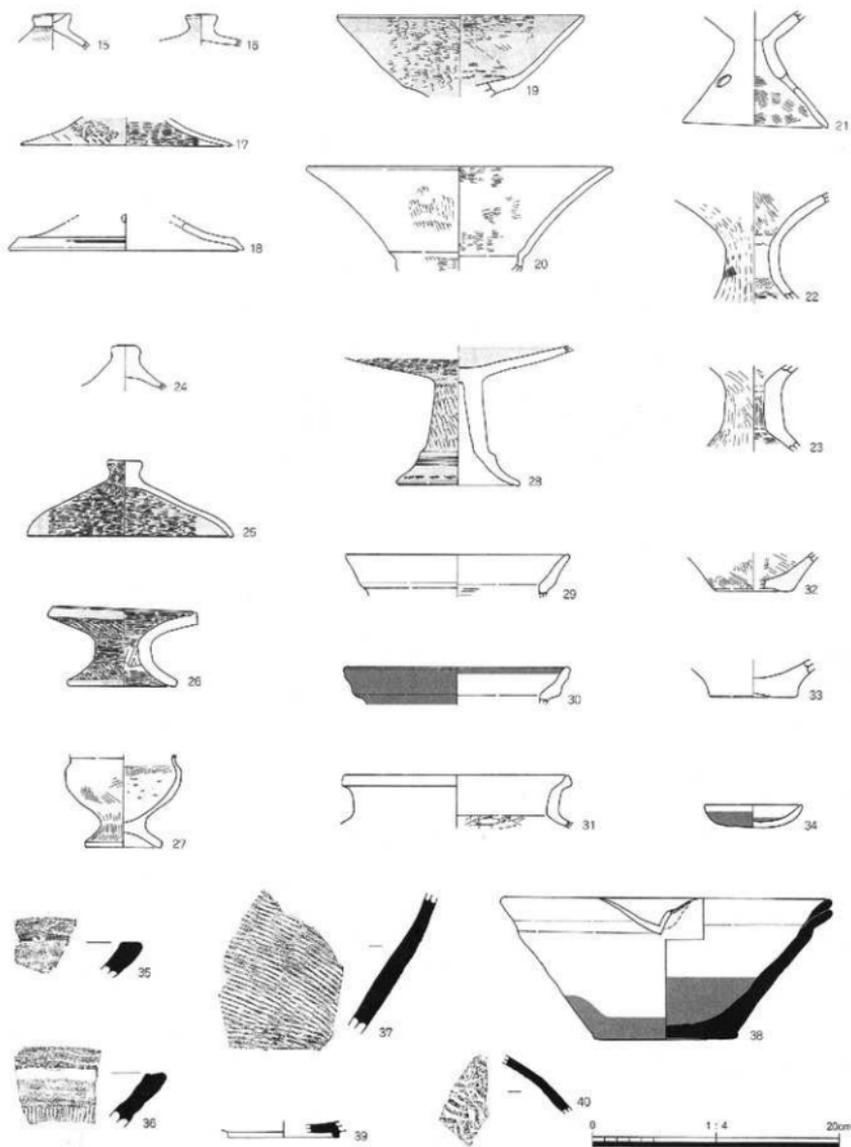
調査概要

上層は上から1層がオリーブ褐色砂、2層が明黄褐色砂、3層が黄灰色粘質土、4層が黄灰色砂礫で共に造成盛土。5層が黄灰色粘質土の旧耕作土、6層が灰オリーブ色(5Y6/2)シルトの地山である。近隣地での本発掘・試掘調査結果を精査して、遺跡の広がりが見られない対象地を含む埋蔵文化財包蔵地の西側範囲を縮小した。





第11図 遺物実測図【試掘調査】(1/4)
松木中流遺跡(1~14)



第12圖 遺物実測図〔試掘調査〕(1/4)

松小中乳遺跡 (15~23) 中山中遺跡 (24~33) 棚田遺跡 (34~38) 黒河南遺跡 (39・40)

第3表 出土遺物観察表(試掘調査)

図版	No.	出土地区	種類	形種	口径(cm)	踏高(cm)	底径(cm)	備考	残存量				
第11図	1	4 T	土師器	壺	14.0	31.8	5.9	松木中鹿遺跡	□1/4				
	2	1 T	土師器	壺	13.0			松木中鹿遺跡	外面煤付着 ほぼ完形				
	3	3 T	土師器	壺	15.7			松木中鹿遺跡	腹凹線文	□1/8			
	4	4 T	土師器	壺	15.9			松木中鹿遺跡	□1/8				
	5	3 T	土師器	壺	16.5			松木中鹿遺跡	□1/8				
	6	1 T	土師器	壺	17.6			松木中鹿遺跡	□1/8				
	7	1 T	土師器	壺	20.0			松木中鹿遺跡	□1/8				
	8	1 T	土師器	壺	17.1			松木中鹿遺跡	□15/8 体1/2				
	9	1 T	土師器	壺	16.5			27.3	5.3	松木中鹿遺跡	外面煤付着 ほぼ完形		
	10	4 T	土師器	壺	13.5			松木中鹿遺跡	外面煤付着	□1/8			
	11	1 T	土師器	壺	18.9			松木中鹿遺跡	外面煤付着	□1/8			
	12	1 T	土師器	壺	17.7			松木中鹿遺跡	外面煤付着	□1/12 体1/8			
	13	1 T	土師器	鉢	20.7			6.8	4.2	松木中鹿遺跡	外面煤付着 体1/2		
	14	1 T	土師器	鉢	20.0			松木中鹿遺跡	一部赤彩痕	□1/6			
第12図	15	3 T	土師器	壺	19.6	24.6	脚16.9 脚18.9	松木中鹿遺跡	破片				
	16	4 T	土師器	壺				松木中鹿遺跡	外面赤彩 破片				
	17	1 T	土師器	高坏(器台)				松木中鹿遺跡	内外面赤彩 脚3/16				
	18	1 T	土師器	高坏(器台)				松木中鹿遺跡	脚3/8				
	19	4 T	土師器	高坏				松木中鹿遺跡	内外面赤彩 □13/16				
	20	1 T	土師器	高坏				松木中鹿遺跡	□1/16				
	21	1 T	土師器	器台				脚11.6	松木中鹿遺跡	透孔2箇所 底ほぼ完存			
	22	4 T	土師器	器台				松木中鹿遺跡	破片				
	23	4 T	土師器	器台				松木中鹿遺跡	破片				
	24	1 T	土師器	壺				16.4	6.1	脚8.6	中山中遺跡	破片	
	25	1 T	土師器	壺							中山中遺跡	内外面赤彩 ほぼ完形	
	26	1 T	土師器	器台							中山中遺跡	内外面赤彩 体5/8 脚完存	
	27	6 T	土師器	台付鉢							6.0	中山中遺跡	底完存
	28	1 T	土師器	高坏							9.6	中山中遺跡	内外面赤彩 脚完存
	29	1 T	土師器	壺	17.8	中山中遺跡	□1/8						
	30	1 T	土師器	壺	17.8	中山中遺跡	外面煤付着 □1/8						
	31	1 T	土師器	壺	17.9	中山中遺跡	□1/8						
	32	1 T	土師器	壺(瓶)	6.2	中山中遺跡	底1/2						
	33	1 T	土師器	壺(瓶)	7.2	中山中遺跡	底1/2						
	34	S K 02	中世土師器	灯明皿	7.7	1.8					棚田遺跡	内外面煤付着 □1/2 体3/5	
	35	S K 01	珠洲	片口鉢	26.4	11.5	11.5				棚田遺跡	波状沈線 破片	
	36	S K 02	珠洲	片口鉢							棚田遺跡	波状沈線 破片	
	37	S K 01	珠洲	壺				棚田遺跡	破片				
38	S K 01	珠洲	片口鉢	棚田遺跡				内外面煤付着 節目 ほぼ完形					
39	2 T	須恵器	坏B	8.8				黑河南遺跡	底1/8				
40	2 T	須恵器	壺	黑河南遺跡				青海波文 破片					

□:口径部 底:底部 体:体部 脚:脚部

1. 調査対象地空撮
(西から)



2. 調査対象地空撮
(東から)



3. 調査対象地空撮
(南から)



図版 2 水戸田地区試掘調査



1. 1T全景
(南から)



2. 1T遺構検出
(南から)



3. 2T遺構検出
(西から)

1. 59 T 全景
(北から)



2. 59 T 遺構検出
(西から)



3. 20 T 土層断面
(西から)



図版4 水戸田地区試掘調査



1. 22 T遺構検出
(西から)



2. 53 T全景
(西から)



3. 53 T土坑掘削
(北から)

1. 重機掘削
(西から)



2. 作業状況
(南から)

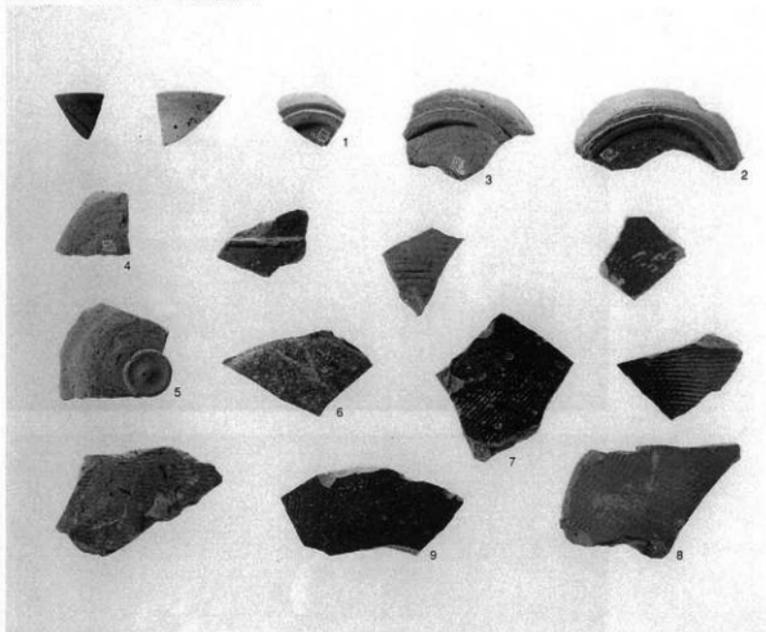


3. 測量状況
(東から)

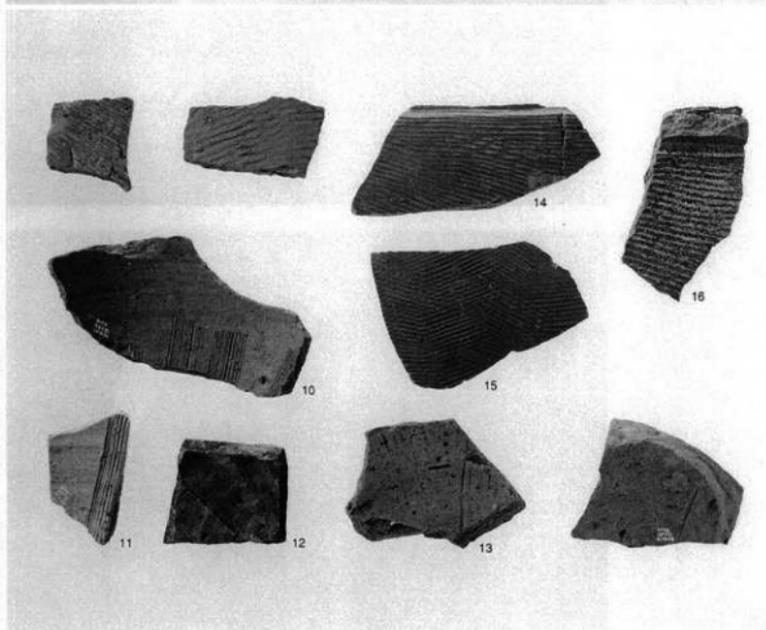


図版6 水戸地区試掘調査

出土遺物
須恵器



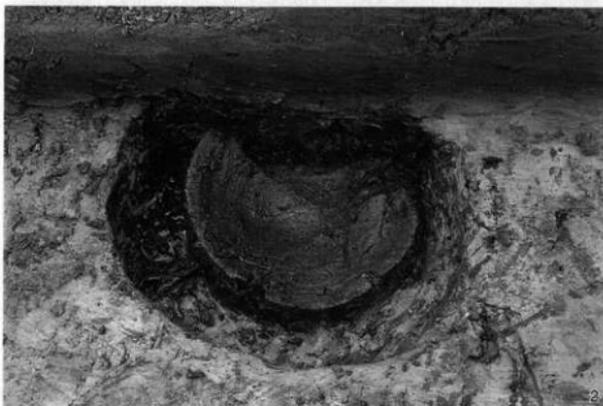
珠州



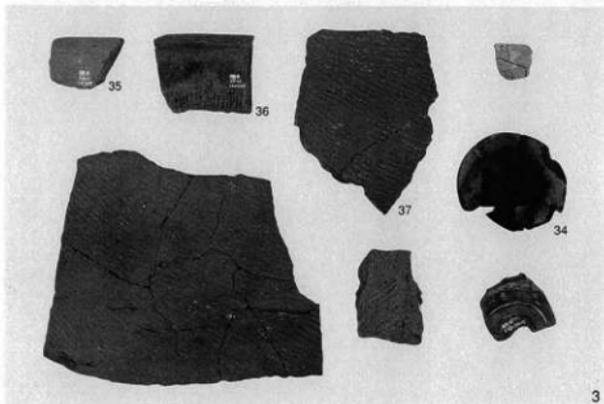
1. 4丁遺構検出
(南から)



2. 1丁土坑遺物
出土状況
(北から)



3. 出土遺物



図版 8 松木中鹿遺跡試掘調査



1. 2T全景
(南から)

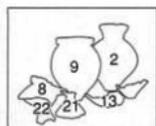


2. 4T遺構検出
(西から)



3. 5T遺構掘削
(南から)

出土遺物
土師器



9



2

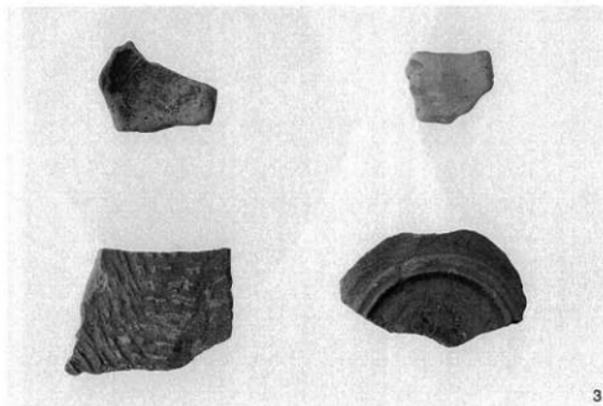
図版 10 針原西遺跡試掘調査



1. 2T全景
(南から)



2. 3T遺構検出
(北から)



3. 出土遺物

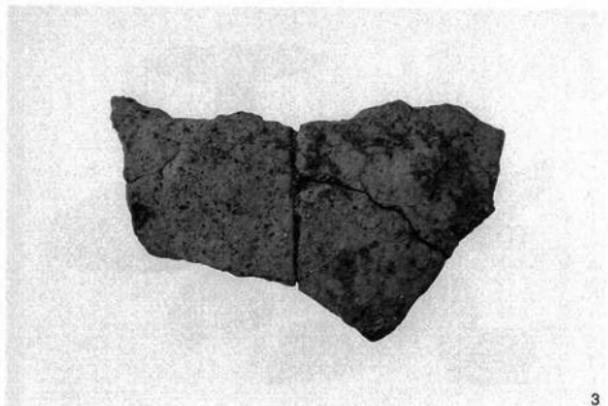
図版 12 南浦遺跡試掘調査



1. 調査対象地全景
(西から)



2. 2T遺構検出
(南から)



3. 出土遺物

報告書抄録

ふりがな		いみずしないいせきはくつちようさほうこくろく						
書名		射水市内遺跡発掘調査報告 6						
副書名		平成24年度水戸田地区は場整備に伴う試掘調査他						
編著者名		田中 明 金三津英則						
編集機関		射水市教育委員会						
所在地		〒933-0292 富山県射水市加茂中部893番地 TEL0766-59-8093						
発行年月日		西暦2014年2月28日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
欄田遺跡	射水市欄田	211	404	36 41 57	137 07 04	20120509	40.5	農機具格納庫及び管理棟建築
串田新遺跡	射水市串田新	211	399	36 43 32	137 03 33	20120514	62.3	駐車場造成
松木中庵遺跡	射水市松木	211	023	36 45 20	137 04 28	20120624・25	77.7	農作業場建築及び駐車場造成
三谷遺跡	射水市黒河	211	098	36 42 13	137 06 20	20120709	19.9	市道改良工事
赤田I遺跡	射水市橋下巻	211	361	36 42 22	137 05 12	20120710	80.3	厩舎介護施設建設
大開遺跡	射水市黒河字大開	211	119	36 42 05	137 06 07	20120723	56.5	店舗建設及び駐車場造成
烏帽子形遺跡	射水市西新湊	211	014	36 46 32	137 04 44	20120912	61.8	店舗建設及び駐車場造成
加茂社遺跡	射水市戸波字加茂	211	088	36 42 56	137 05 58	20120918	11.5	個人専用住宅建築
針原西遺跡	射水市黒河	211	090	36 42 33	137 07 18	20120925	102.6	駐車場造成
三ヶ遺跡	射水市三ヶ	211	075	36 43 22	137 05 23	20120926	32.5	作業用敷地(畑)の造成
中山中遺跡	射水市太田山	211	095	36 42 26	137 05 54	20121003~07	70.6	個人専用住宅建築
前浦遺跡	射水市前浦	211	037	36 44 16	137 05 10	20121010・11	374.4	冷凍庫建設及び駐車場造成
朴木C遺跡	射水市朴木	211	044	36 45 18	137 04 52	20121019	89	駐車場造成
生源寺重遺跡	射水市水戸田	211	422	36 42 24	137 04 21	20121015	102.1	県営ほ場整備事業
生源寺II遺跡	射水市水戸田	211	421	36 42 02	137 04 11	20121016~30	1,367.4	県営ほ場整備事業
黒河I目遺跡	射水市黒河字尺目	211	104	36 41 57	137 07 04	20121214	30.6	駐車場造成
黒河南遺跡	射水市黒河字竹山	211	127	36 41 58	137 06 41	20130305	26.5	駐車場造成
本間発遺跡	射水市本間発字代官免	211	455	36 43 25	137 05 14	20130311	135.7	物販店建設
一口池発遺跡	射水市二口	211	403	36 43 19	137 03 25	20130326	8.5	小学校増築工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
欄田遺跡	散布地	縄文・弥生・古代		中世土坑・近現代溝 不明土坑		中世漆器・中世土師器 不明陶磁器		工事実施
串田新遺跡	集落・古墳	縄文(中)・古墳(前)		不明溝		なし		工事実施
松木中庵遺跡	散布地・集落	弥生～古墳・中世		弥生溝・弥生土坑 近世土坑		弥生土師・古墳土師器 近世陶器		保護措置あり(483㎡)
三谷遺跡	散布地・集落	弥生(後)・古代		なし		なし		工事実施
赤田I遺跡	集落・祭祀	弥生(後)・古代		なし		なし		工事実施
大開遺跡	散布地	縄文(中)・古代		なし		近現代磁器		工事実施
烏帽子形遺跡	散布地	古代		なし		なし		工事実施
加茂社遺跡	散布地・集落	弥生～古墳・古代		不明溝		なし		工事実施
針原西遺跡	散布地・集落	縄文(中)・古代		古代溝		古墳土師器・古代須恵器 古代土師器		工事実施
三ヶ遺跡	散布地	弥生		なし		なし		工事実施
中山中遺跡	集落・古墳	縄文(晩)・古墳(前)		弥生堅穴建物跡・弥生土坑		弥生土器・古墳土師器		保護措置あり(244㎡)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
南端遺跡	散布地	弥生	不明溝	縄文土器	工事実施
朴木C遺跡	散布地	弥生(中)～古墳・中世	なし	なし	工事実施
生瀬寺Ⅲ遺跡	散布地	古代	古代溝・中世土坑 不明溝・不明土坑	古代須恵器・中世珠洲 不明土師器	保存協議中
生瀬寺Ⅱ遺跡	散布地	弥生・古代	古代溝・中世溝 中世井戸・近現代溝 近現代土坑・不明溝 不明土坑	古代須恵器・中世土師器 中世珠洲・近世陶磁器 不明土師器	保存協議中
黒河尺目遺跡	散布地・集落	縄文(中)・古代	なし	なし	工事実施
黒河南遺跡	散布地	縄文・弥生・古代	なし	古代須恵器	工事実施
木間築遺跡	散布地・集落	弥生(中)・古代～中世	不明溝	なし	工事実施
二口浦免遺跡	集落・古墳	古墳(前)・古代	なし	なし	工事実施

射水市内遺跡発掘調査報告6

－平成24年度水戸田地区は場整備に伴う試掘調査他－

2014(平成26)年2月28日 発行

編集・発行 射水市教育委員会

〒933-0292

富山県射水市加茂中部893番地

TEL 0766-59-8093

印刷 株式会社 二口印刷

